

～ ツキノワグマの出没等に係る注意情報 ～

全国ではクマの目撃件数の増加に伴い人身被害も発生しています。

京都府においては、ツキノワグマの生息地における昨年度のブナ科種子（どんぐり）の結実状況は凶作に近い並作（今年度の結実状況は調査中）であり、人家や農地等の集落周辺での出没情報が多く寄せられるなか、令和6年9月8日に南丹市園部町で人身被害が発生いたしました。

今後、秋になると冬眠期に向けてクマはエサを多く採取する時期でもあり、行動も活発になると考えられます。特に、早朝や夕方以降は、人身被害が多い傾向がありますので、クマを引き寄せないため、遭遇しないためにも以下にご注意いただきますようお願いいたします。

■ 家の近くにクマを引き寄せないために

- ・ 人家近くの柿などの果樹は、早めに収穫を
- ・ 家の周りに残飯をすてないで
- ・ やぶや草の茂みに隠れられないよう集落周辺、通学路沿いの草むらの刈り払いを
- ・ キャンプ地などでは、ゴミや残飯の管理を徹底

■ クマと遭遇しないために

- ・ 児童、生徒の通学にあたっては、集団登下校を行うなど、十分な安全措置を
- ・ クマが活発に行動する朝夕の時間帯は特に注意
- ・ 霧や風の日（クマの感覚能力が発揮できない）、川の近くでは特に注意する
- ・ 突然クマと遭遇しないよう自分の存在を知らせる（鈴やラジオを鳴らしながら）
- ・ 入山しようとする地域でクマの出没情報がないか確認を
（出没情報マップ <https://www.pref.kyoto.jp/choujyu/kumanitsuite.html>）
- ・ 枝折りや爪痕、糞などのクマの痕跡のあるところには近づかない
- ・ どんぐりなど餌が残っている場所も再び食べにくる可能性が高いので近づかない
- ・ 子グマを見たら絶対に近づかない
- ・ 林道などで自動車から降りる際にはクラクションを数回鳴らしてから降りる

■ 会ったときあわてない興奮させないために

- ・ あわてない、騒がない
- ・ クマの威嚇行動（前進後退の繰り返し）には注意する
- ・ そっと下がる
- ・ 走って逃げない（背中を見せて逃げるのは危険です）

京都府農林水産部農村振興課
電話 075-414-5022

裏面あり

山でクマと 会わないために

① 入山しようとする地域で クマの出没情報はないか注意する。

府広域振興局や市町村、地元住民から
情報を集めて入山してください。

② クマの形跡がある ところには行かない。

新しいクマの糞、足跡などを見つけたらあわてず注意しながら行動してください。

林外の安全な場所が近くにある場合は、すぐに移動してください。



③ 突然クマと出会わないよう、 自分の存在を知らせる。

クマは臭覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人より先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオを鳴らして歩きましょう。

④ クマが活発に行動する朝夕の行動は特に注意を。

朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んになります。朝夕の山中での行動は十分注意してください。

⑤ 霧や風の日、川の近くでは注意する。

山中でこのような場面ではクマも感覚能力が発揮できず、人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。

⑥ 子グマを見たら絶対に 近づかない。

近くに必ず親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる場合があります。すぐにその場から立ち去りましょう。



▲木の実を食べた後のクマの糞

家の近くにはクマを 引き寄せないために

① 家の周りには残飯を捨てないでください。

クマは、腐りかけた肉なども大好きです。

コンポストから出てくる悪臭はクマを呼び寄せることとなります。



② キャンプ地等 ではゴミや残飯 の管理を徹底してください。

味が付いた袋や空き缶などもクマを呼び寄せることとなります。

臭いが出ないようにビニール袋に密封して持ち帰ってください。



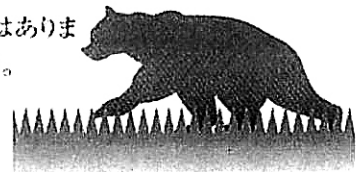
③ ハチの巣は取り除く。

クマはハチミツが大好物です。ハチの巣はクマを呼び寄せるものになりますので取り除きましょう。

会ったときに あわてない 興奮させないために

① あわてない。

遠くにいるだけなら心配はありません。そっと立ち去りましょう。



② 騒がない。

大声を出さない。石や棒を投げない。興奮させるだけです。

③ 威嚇行動には注意する。

前進と後退を繰り返して威嚇することがあります。

④ そっと下がる。

距離はお互いの興奮を鎮めることとなります。できるだけゆっくり離れてください。

⑤ 走って逃げない。

十分離れるまでは背中を見せて逃げるのは厳禁です。クマは本能的に襲ってくる場合があります。



裏面あり